

●タウンミーティング① ～大阪狭山市の公共施設をみんなで考える～

日時：令和6年7月7日（日）13時00分～16時00分

場所：大阪狭山市役所 3階第1・第2会議室

質疑応答・意見交換

	参加者等のご意見等	応答
1	<p>・今熊地区周辺エリアのコンセプトについて「憩い・にぎわい・学び」についてだが、マッチしないように思う。学びについては、図書館、生涯学習機能が該当すると思うが、カフェ等のにぎわい空間については、新設するから書かれている言葉なのか。現状の施設を充足するための施策ではない、なんのためのものか、空き地をうめるためなのか、「憩い・にぎわい」はキャッチフレーズが大きすぎるのでは。その必要性については何も答えてもらっていないように思うのだが。</p> <p>・公共施設を縮小することなので、保健センター等は縮小されるのかなとも思ったりする。空いた場所にカフェなどが出来るのかと思ったり。</p> <p>・アンケートを実施したというけれど、その存在を知らないし、どこの地区の人にとってのか。</p> <p>・大阪狭山市全体で憩いの場所が足りない。狭山池があり、コメダコーヒーもできたが、なぜ今熊で憩いの場が必要なのか。今熊の取組みの重要なキャッチフレーズになっているが。</p>	<p>・現状も大事だが、これからの公共施設のあり方について、市として、市民のみなさまに利用してもらえる施設をつくるのが大事であると考えています。</p> <p>・どのような施設にするのが良いかと考えた時に、コンセプト、イメージとして、憩える場所、もしくはにぎわいを創出してもらえる場所、もしくは学んでもらえる場所を考えています。</p> <p>・現在は保健センター、公民館、図書館、さやま荘などがありますが、イメージとしては複合施設にしたいと考えています。1つの建物の中に全ての機能を入れてもよいし、2つまたは3つなど機能ごとにわけるとも1つであると思っています。現時点ではなにも決まっていません。それも含めて市民のみなさまの意見を聞きながら進めていきたいと思っています。</p>
2	<p>・今熊地区には保健センター、公民館、図書館、障害者母子センター、さやま荘、共同作業所など色々あり、福祉関係の施設が中心であるように思うが、今熊地区のコンセプトである人が集まるというのは、実際の機能とはかけ離れているような気がする。</p> <p>・そのため、先の人が言ったように狭山池</p>	<p>・色々な考え方があるが、今後の公共施設のあり方として、今熊地区に集約するという必要はないし、もっと分散したほうがいいだろうというのもある、また狭山池周辺にというのもある、また近大跡地にという考え方もあると思っています。</p> <p>・ただ、冒頭の挨拶で申し上げた通り、公共施設のあり方について、公共施設再配置計画</p>

	参加者等のご意見等	応答
	<p>周辺に人が集まるような施設をつくって移住者を集めて、人口減少を食い止め、大阪狭山市の発展につなげるといったコンセプトがあればいいのではないかと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の今熊地区の建て替えと機能の充実とあるが、例えば、保健センターは近大跡地に移転するとか、医療施設をとということであれば、現在の施設を充実させて入れるとかすればよいのでは。 ・現在の郷土資料館については必要なのか。これらのちぐはぐをやめて、もう少し的を絞ってやってほしいと思う。市の描いているイメージは今熊地区だけでは不可能だと思う。 	<p>策定委員会を設け、市民代表の方々、市民団体代表の方々、有識者の方々での検討を踏まえ、市民アンケートやパブリックコメントをやってきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それらを踏まえて、今まずは、今熊地区周辺エリアを優先的に手を加えていきたいと思います。 <p>うとなっているので、これまでの過程が行政として説明不十分だった部分はあるかもしれませんが、色々なご意見をお聞きした過程を経て、まずは優先的に今熊地区周辺エリアを市民のみなさまとしっかりと考えながら進めていきたいと思いますということになっているのでご理解いただければと思います。</p>
3	<p>【辻先生へ質問・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あまの街道は歩いたことがあるか。 ・保健センターと資料館の間の道を上がっていったところに入口があるのだが、標識もなく、草が沢山生えていて、行きにくく暗い道。そのため、整備をして、舗装したらすばらしいルートが出来ると思う。今熊の施設と一体化して、老人の施設や小学校の放課後デイサービスとか、図書館とかレストランとか、宿泊施設などもつくったらいいのではないかと思います。 ・泉ヶ丘に、ビックアイという障がい者の宿泊施設や公園、ステージなどがある施設があるが、同様の施設を面積は半分にして上に高くしてつくって、あいた土地で芝生にしたり、カフェ（屋外で飲める）をつくったり、憩いの場を作って、歩きたい人はあまの街道を歩く、というような場所をつくったらいいのではないかと思います。 ・あまの街道の下の方で、元は産業廃棄物が捨てられていたところなのだが、広さ 	

	参加者等のご意見等	応答
	もあり、眺めがすごくよく素敵なお場所。今は草がたくさん生えていて、少しメタンガスが出ているので自然公園には出来ないが、あれだけのスペースがあれば素晴らしい自然公園に出来ると思うので、公共施設と散歩道ということでもつないでもらえれば。ぜひ先生も歩いてみてほしい。	
4	<ul style="list-style-type: none"> ・辻先生が市循環バスを増やしてはと市長に聞いた際、市長が南海バスの話が出たが、近大病院が泉ヶ丘へ移転したら南海バスの便数が減るといように聞こえた。 ・もしそうなるとしたら、新たな複合施設が今熊であろうが、狭山池であろうが、近大跡地に出来ようが狭山にとっては大きなマイナスとなるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほど南海の路線バスの話は少しさせてもらったが、私の中では危機感を持っているところです。 ・今の時点ではっきりと南海バスからそのような話はされていませんが、身近な金剛バスの事例は、原因は人員不足（運転手不足）によるものと聞いています。 ・それは金剛バスに限らず全てのバス会社にあてはまることです。近大病院が移転することはなにがしかの影響がでるのではないかと危惧しているところからの発言。 ・ただ、もし方が一そうになったとしても、市循環バスで、市民のみなさまの利便性はしっかりと確保をしていきたいと考えています。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料館は狭山池博物館に間借りしているが、スペースも広くない上にたいしたものもない状態。 ・末永先生の名前は大きいので、功績を継承する建物として郷土資料館を今熊に戻すことは出来ないのか。 ・このようにたいしたものが残っていない状態はいかがなものかと思うのだが。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪狭山市資料館は間借りではなく、大阪府立狭山池博物館と共同運営をしています。今の時点では、大阪狭山市資料館は今後も維持したいと考えています。 ・末永先生の功績の大きさは十分に認識しているので、どのように継承していくかについては議論の余地はあると思っています。しっかりと検討していきたいと考えています。 ・長い目で見た時に、大阪府立狭山池博物館の今後の動きによっては、資料館のあり方や末永先生の功績の継承について検討していく必要があると認識しています。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・通園している保護者の意見を聞かずに進めるのは間違っている。 ・働く保護者にとって、迎えに行くのは大 	<ul style="list-style-type: none"> ・検討委員会のなかでアンケートを行い、結果も踏まえ検討し、答申をいただきました。 ・アンケートは、令和4年7月に、当時実際

	参加者等のご意見等	応答
	<p>変だ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結論ありきでなく、意見を聞いてほしい。 	<p>に通っている方やこれから通う方を対象に実施し、教育委員会が進めようとしている取組みについて、意見を聞いた結果を今回お示しています。</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> ・今、こども園に通わせているが、統合によって、希望する園に行けなくなってしまうようなことにはならないのか。 ・今後、子どもが入ることを考えると不安があり、統合することによって入園の障壁がより高くなってしまふことにならない方がいいと思う。 ・子育て支援課、南館、保健センターに行くことがあり、再編するなら市役所も今態にして1箇所にしてほしい。 ・狭山池や今の役所のあたりを充実させて、公園とかを充実してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しく計画しているこども園の定員については、これから検討していきます。また、個別の要望事項については、個々の対応になります。 ・市役所に足を運ばなくても自宅から申請手続きができるような市役所をめざし、推進していきます。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの学校園の適正規模・適正配置の取組みで配慮すべき点について、8項目あって、1番多いのは子どもたちの通学・通園時間、距離、方法、安全の確保で82.8%、次が36.8%で子育て機能を有する施設との連携が多かった。 <p>最大の関心事は、通園するときの距離はどこが近いのかということだと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設を1つにまとめて適正な規模で子どもたちの教育・保育を行っていくという案ですので、通園バスのルート等、子どもたちに負担がかからないような方法を検討していきます。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・3つある幼稚園を1つにするというのは、非常に大きな負担で、障がいがある、体力的にしんどい子が通えるのか。バスで耐えられるのか。 ・幼稚園がなくなることは職員の仕事もなくなることも考えるべきだし、アンケートを取ったとのことだが、不安に対して、文書で出すべきではないか。 ・遠くなって子どもが病気になったときに、どうやって迎えにいったらいいのか。きちんと文書を出してほしい。 ・地域の園がなくなってしまう、遠くまで行かないといけなくなる、とても大きい話である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公立園が果たすべき役割を重要視していき、配慮の必要な子どもへの対応はしっかりと行っていきます。 ・職員の待遇については、統廃合対象の施設で勤務する職員は、基本的には新こども園にて勤務していただくこととなります。 ・アンケートの回答ですが、個々に回答するという事はしておらず、いただいた内容を検討し、実施方針を策定していきます。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園3園だけで十分適正規模が成り 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育・保育は民間の力も借りながら進めて

	参加者等のご意見等	応答
	<p>立つと思うが、1園となると、距離的に南の方へ行かないといけない。</p> <p>利便性やコストの問題より、子どもたちがより良い教育・保育を受けられるために、私たちの税金は子どもたちのために使ってほしい。</p> <p>アンケートで距離のことが言われているのに、南の方に1つにするというのは問題だと思っている。</p> <p>幼稚園の子どもは、地域のなかで育つもので、3つの園のうちほとんどが狭山中校区で、その地域で育っていくことを大事にしてほしい。</p> <p>1園でなく、2園は考えられないのか。</p>	<p>おり、検討委員会で再編・統合についてご理解いただいています。</p> <p>ご意見の中には幼稚園を民間のこども園に移行してはどうかという意見もありましたが、公立園の果たすべき役割を守るということを方針の中へしっかり明記した経緯があります。</p> <p>民間の力も借りてということなので、公立のすべき役割については2園ではなく1園でと現時点では考えています。</p> <p>・年齢に応じた適正な人数というのがありますので、それに応じた職員の配置を行います。</p>
11	<p>大阪狭山市を発展させようと思ったら、若い人、子どもがいる人を呼べる力をまち全体として持たないといけない。</p> <p>若い人がくるためには、保育所、こども園を充実させないと転入する意味がない。</p> <p>このまちを充実して大きくしていくことは、市長の責務でもあると思う。</p> <p>チャレンジ精神を持っていないと。</p> <p>・公立の幼稚園が減っているから仕方ないではなくて、増やすためにどうしたらいいのかを考えないといけない。</p> <p>・これ以上若い人が来る見込みがないということで判断されたのか。</p> <p>・今ある3つの園を市長は否定するというのでいいのか。</p>	<p>・人口は減っていくが、みんなが生き活きと活動できるまちをどうつくるか。</p> <p>・大阪狭山市の就学前、小学校に行くまでの子どもたちの子育て環境をつくっているのは、公立の幼稚園、こども園、私立のこども園・保育所があり、公私両方が力を合わせて大阪狭山市の就学前の子どもたちを見守ってくれています。</p> <p>今の傾向では、公立園に入園したいという希望者が年々減り、民間は増え、今後も増える見込みであるというデータがあります。</p> <p>公私両方が力を合わせて、協力しながら子育て環境を充実させていくというのが大きな方向性です。</p> <p>・公立幼稚園は、今後1園にした方が規模は縮小されますが、サービスは充実させていくという一定の方向性が出ています。</p> <p>・公立の幼稚園を存続させていくために、2年保育を3年保育にして、教育内容の充実や一部給食を導入、小学校や地域との連携を含めて、特長・魅力を引き出すように取り組んできましたが、将来的に公立の希望者の増加の見込みは望めない現状を判断して今の状態になっています。</p> <p>・公立の幼稚園・こども園でも老朽化が進ん</p>

	参加者等のご意見等	応答
		<p>でおり、安全を守るための策として、提案させてもらっていますが、市民のみなさまから意見を頂戴しながら、当事者の意見を尊重して、この間取組みを進めてきて今の段階にきており、1つ1つの手続きを踏みながら、今の方向性になっています。</p> <p>・就学前の子どもたちの教育、子育て環境をつくっているのは公立の幼稚園・こども園だけではなく民間園にもお世話になっています。</p> <p>今後もし統合したあと、地域の方々のご希望も踏まえて、可能であれば、民間の事業者にその地域に入っていただくこともあり得ます。</p> <p>今後どうなるかわかりませんが、跡地の利用の仕方として、他の幼稚園を統廃合した折も実施しています。</p>
12	<p>・公共施設の問題を考える場合、どこの市も集中型か分散型か、人口減少の中で議論されているが、公立の幼稚園の魅力をもっと発信していくべきである。</p> <p>「子育てしやすい大阪狭山市」を大事にしないと、市の施策がいいか悪いかで人口が変わってくる。住んでよかったさやまを胸に、魅力をもっと発信して欲しい。</p>	<p>・本市には、いろんな魅力があり、公私関係なく、大阪狭山市で活動されている方全てが市民で、それぞれの立場で役割を担っていただくことで、大阪狭山市の魅力が増し、大阪狭山市で住みたい人も増えていくと期待しているので、出来るだけ行政としても魅力発信を担っていきたいと考えております。</p>